

技術物流連合会（SUJ）、下原啓明会長）は9日、「第4回宅配品質競技会」の決勝戦を開催。予選を勝ち抜き、決勝に進出した5チームが、日頃培ったテクニックとノウハウを競い合った。

家庭への冷蔵庫の搬入を想定した競技では、お客と事前で電話で連絡を取るシーンからスタート。養生も含めた搬入技術や言葉遣い、身だしなみ、コミュニケーション能力などが審査された。また、今回からイレギュラー対応も審査項目に追加。「お客が強引に手伝いに来る」「15分間、家を空けると言われる」

佐野、池元ペア（エース）が優勝

SUJ 宅配品質競技会 競技レベル過去最高

「ボールペンを返さない」「見合い写真を持ってきて勧められる」など、実際の現場でも起きそうなシーンを盛り込んだ。

優勝はトップバッターで出場したエースカーゴ（滋賀県野洲市）の佐野史明さんと池元隆弥さんのペア。佐野さんは「競技会があることで日々の業務もより高い品質を目指して取り組むようになった。普段はペアになることのない仲間のやり方もすべて非常に役立っている」と語った。

講師で下原会長は、「年々、競技レベルが上がっているが、今年が過去最高だった」

と出場選手を高く評価。「次回以降は競技会への参加資格を会員外にも広げ、さらに盛り上げていきたい」と語った。2位から5位までは次の通り。

- 第2位 川ユナイトサービス（神戸市須磨区）の中野晃志さん、濱島侑弥さん▽第3位 北海道丸和ロジスティクス（北海道石狩市）の野坂和弘さん、瀬川薫さん▽第4位 川エスサービス（兵庫県宝塚市）の佐野田誠さん、森見一哉さん▽第5位 川LJP（仙台市宮城野区）の高橋大地さん、佐藤裕さん

（大西友洋）

